



もう師走になりました

校長 本郷 光一

いよいよ、2017年も残すところ1か月となりました。皆さんにとって、今年はどうな1年でしたか。

1月に新年の目標を立てたと思ったらもう12月、時の流れが早すぎると思っているのは私だけでしょうか？ これも年を取ってしまったからでしょうか？

目標は達成できそうですか？ まだ1か月あるのでやり残したと思うことがあれば、行ってください。

特に3年生にとってはこれから2か月間の時間の使い方が大切になります。自分の進路目標をしっかりともち、これ以上勉強ができないというくらい自分を追い込んでください。「努力は裏切らない」私の好きな言葉です。

タイトルに挙げた「師走」について、読み方は「しわす」「しはす」と読みます。師走という漢字から「忙しさ」がぴったりと合うように感じる人も多いと思いますが、実は師走の由来は正確にはわかっていないそうです。

12月は文京区では「いのちと人権を考える月間」

みんなで築こう 人権の世紀

～ 考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心 ～(法務省)

1948年(昭和23年)12月10日、国際連合で世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として、世界人権宣言が採択されました。

本校でも、11月24日(金)に国際理解講座を実施しました。

講師は「ホロコースト教育資料センター代表石岡史子さん」にお願いし、ホロコーストの歴史をとおして、当時の世界情勢や人々の様子を学び、豊かな国際感覚と命の大切さや思いやりの心を育む取組を行いました。

石岡さんはこの教育活動を始めて18年目。「ハンナの鞆」というタイトルで、第2次大戦中、ナチスドイツのユダヤ人絶滅政策によって収容所に入れられ、13歳で命を落としたハンナ・ブレイディの軌跡を全国で900回を超える講演をなさっているそうです。

本校での講演の話を目にして、当日はドイツ大使館ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン駐日大使、ローベルト・フォン・リムシャ公使も来校し、一緒に講演を聞きました。最後に大使から生徒たちに向け「この記憶を忘れてはならない。何が起こったか、何をすることができたか、皆さんも考えて」とお話しく下さいました。

～ 11月の主な行事 ～

☆ふれ合い給食

11月9日(木)、本校1階ランチルームにおいて、ふれ合い給食が実施されました。地域の方々に文林中学校および学校給食を理解していただくとともに、地域の方々とふれあいをとらして、年配者へのいたわり、おもてなしの心を育てることを目的に行われました。保健給食委員は準備片付け、当日の進行などで活躍しました。PTA 校外委員さんの協力もあり、参加された方々には楽しいひとときを過ごしていただけたのではないかと思います。



☆お菓子の株式会社

11月11日(土)、2年生で「チャレンジ!お菓子の株式会社」という出前授業が行われました。日本証券業協会の方を講師にお迎えし、株式会社のしくみについて学びました。グループごと、まず会社名と社長を決め、お菓子の新商品を種類、商品名、特徴からパッケージ、キャッチフレーズまで考え、最後は皆の前で商品の紹介し投資家を募るといった内容でした。参観した保護者の方々にも参加していただき、ありがとうございました。



☆国際理解講座 「ハンナのかばん～悲しみを希望にかえて～」

11月24日(金)、全校生徒対象に、ホロコースト教育資料センター代表、石岡史子さんによる出前授業が行われました。アウシュビッツで殺された13歳の少女ハンナの遺品(かばん)から、平和、命の大切さや人権について学ぶことができました。講座にはハンス・カール・フォン・ヴェアテルン駐日ドイツ大使も参観されました。



☆12月の行事予定

4日(月)～8日(金) 三者面談
6日(水) 英会話講座(19回) 15:10～
8日(金) 1年歯科指導

9日(土) 土曜授業公開 ②③「いのちと心の授業」
13日(水) 英会話講座(20回) 15:00～
20日(水) 英会話講座(21回) 15:00～
25日(月) 終業式